

コロナ禍の学内実習での助産学専攻科学生の学習目標到達状況と学び に関する研究のお知らせ

帝京大学助産学専攻科では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2023年5月26日～2026年3月31日

〔研究課題〕

コロナ禍の学内での分娩介助実習における助産学専攻科学生の学習目標到達状況と学び

〔研究目的〕

2021年度、コロナ禍による実習施設数の減少の影響を受け、臨地実習を補完するために学内実習を実施しました。初めての試みとして実施した学内実習での、助産学専攻科学生の学習目標到達状況と学びについて、学習調査票に基づき、整理、検討を行い、今後の助産教育の向上、改善に活用します。

〔研究意義〕

近年、ハイリスク妊娠・分娩の増加など、助産師にはより高いケア実践能力が求められており、2021年度の学内実習における取り組みを整理し、改善、応用することで、臨地実習前後の講義や演習の充実につながり、助産教育の質の向上、改善に役立ちます。

〔対象・研究方法〕

研究対象は、2021年度の分娩介助実習において学内実習を実施した帝京大学助産学専攻科学生です。研究方法は、学内実習の最終日に実施した、学内実習を通じた学習目標到達状況に関する学習調査の内容に基づき、助産学専攻科学生の学習目標到達状況と学びを整理し、教育上の課題や改善点について検討します。

〔研究機関名〕

帝京大学助産学専攻科

〔個人情報の取り扱い〕

学習調査票は、研究責任者(情報管理責任者)の研究室の鍵のかかる書庫で保管します。学習調査票に基づき、特定の個人が識別できないように加工した電子データを作成し、ファイルにはパスワードを設定して、研究責任者(情報管理責任者)のAdobe Creative Cloudに保存します。「帝京大学・帝京大学短期大学における研究データの保存等に関するガイドライン」に基づき、当該論文等の発表後10年間保管した後、学習調査票はシュレッターで復元できない状態にして破棄し、電子データはAdobe Creative Cloudから全て消去します。本研究で取り扱うデータは、本研究目的のために使用し、他の研究機関へデータを提供することはありません。

対象となる助産学専攻科学生さんで、ご自身の調査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：講師 田中利枝
研究分担者：教授 片桐麻州美 准教授 池田真弓 講師 望月千夏子
所属：助産学専攻科
住所：東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211(代表)〔内線 41625〕